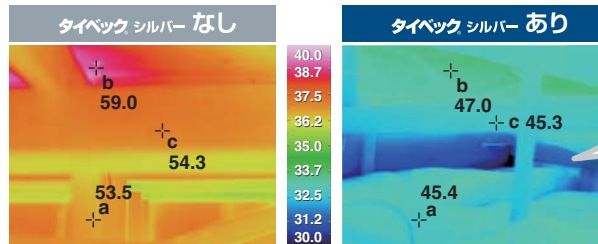


タイベック® シルバー 小屋裏施工の重要ポイント

高い遮熱効果を得るための、正しい小屋裏施工を推奨しています。

夏に屋根が受ける日射エネルギーは非常に大きく、屋根および屋根直下の天井は高温状態となるため、夜も室内への熱放射が続き、寝苦しいこともあります。**タイベック® シルバー**は正しい施工により遮熱効果を発揮し、この熱放射による影響を抑えます。冬は室内からの熱放射を抑え、暖房の効率化にも貢献します。

夏の事例

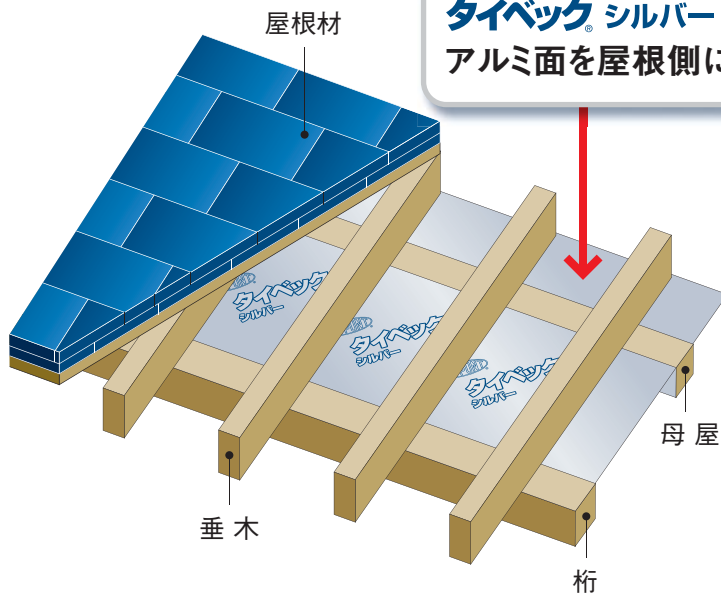


タイベック シルバー
施工後は小屋裏の
温度が**約8℃**
低くなりました。

2008年7月12日 午後1時半ごろ撮影 ■外気温:33℃ ■仕様:グラスウール 10kg/m³ 100mm
■撮影部位:屋根裏 ※千葉県において同一仕様の2棟物件にて検証

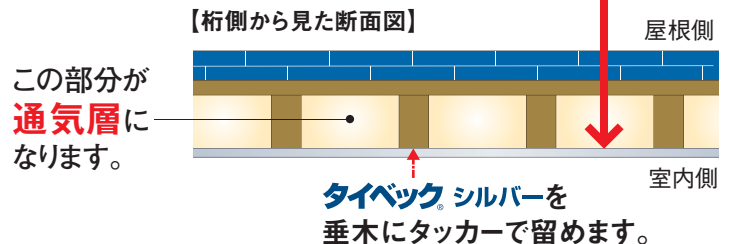
施工の際は、以下の点にご注意ください。

- 小屋裏(室内側)から、アルミ面を屋根(外側)に向け、タッカーなどで母屋や垂木に留めてください。
- **タイベック® シルバー**は、母屋だけでなく、垂木へのタッカー留めも十分に行ってください。(ピッチ100mm以下推奨)
- 防水用途ではないので、重ねしろは特に必要ありませんが、すき間ができないように施工してください。
- 屋根ルーフィングにはお使いいただけません。ルーフィング材で求められるほど、十分な防滑性と釘穴止水性がありません。
- アルミ面は空気に触れるように施工してください。屋根断熱工法などの場合には、弊社までお問い合わせください。



タイベック® シルバーの
アルミ面を屋根側に向けます。

【施工仕上がり例】



※軒天換気・棟換気などを併用すると、より効果的です。

総輸入販売元

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社
〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

デュポン™、DuPont™、デュポンオーバルマーク、The miracles of science™、タイベック®、Tyvek®は、米国デュポン社の商標あるいは登録商標です。

製品カタログのご請求
に関するお問い合わせは
右記までご連絡ください。

 **0120-300355**
E-mail Tyvek.Japan@jpn.dupont.com
URL <http://www.tyvek.co.jp>

タイベック® シルバー 小屋裏施工の施工参考手順

タイベック® シルバーは、軽量で柔らかく、引裂き強度に優れており、多少強く引っ張っても裂けることはありません。端から端まで余分なたるみを作らないように、以下の手順を参考に施工してください。さらに詳しい手順については、分かりやすく説明している動画「屋根裏部施工ムービー」を弊社のホームページで公開しています。ぜひ、一度ご覧ください。



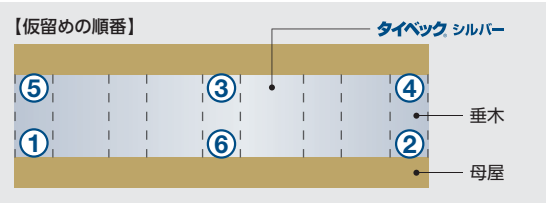
① 小屋裏（室内側）から、アルミ面を屋根（外側）に向けて施工します。



② 端から端まで伸ばします。



③ 図のような順番でシート片側の端と端を先に仮留めし、次に中央を仮留めます。



④ 仮留めが終わったら、タッカーなどで母屋や垂木に本留めしていきます。



⑤ タッカー留めは、100mm以下のピッチで行います。



⑥ 継ぎ目など、風でなびく音が発生する恐れのある部分は、粘着テープで留めてください。



⑦ 施工完了です。

「屋根裏部施工ムービー」をご覧になるには

タイベックシルバー 小屋裏

検索



※Yahoo!JAPANでの検索をおすすめします。Googleで検索した場合、「タイベック® シルバー施工方法」がトップに表示されますので、ページ内の「屋根裏部」ボタンをクリックしてください。

URL : <http://www.tyvek.co.jp/construction/product/silver/construct/yaneura.html>



小屋裏施工 Q&A

Q アルミ面を裏側（室内側）にして施工してしまったのですが、遮熱効果は期待できますか？

A アルミ面が空気に触れている状態であれば、表側に施工した時と同じ遮熱効果が期待できます。アルミは赤外線反射率が高い一方で、放射率が低い素材です。そのため、アルミ面を室内に向けて施工されている場合、夏は外部から室内への熱の放射を抑え、冬は室内へ熱を反射します。

Q 屋根断熱工法の場合、遮熱シートを施工することはできますか？

A 断熱材または野地合板などとタイベック® シルバーのアルミ面が触れないように施工すれば同様の遮熱効果は得られます。詳細は弊社までお問い合わせください。